

6月上旬発売予定

貴店番線印

ご担当

冊

ISBN978-4-88059-456-9 C1039 予価¥3200 四六判並製

柳田国男の宮廷時代

山下紘一郎

而立書房

而立書房 6月新刊のご案内(委託メ切 2026/5/15)

柳田国男の宮廷時代

山下紘一郎 著

四六判並製512頁 本体予価¥3200+税 ISBN978-4-88059-456-9 C1039

「常民」に歴史の主体を見た民俗学者・柳田国男の宮廷官吏時代を解明し、戦後日本と柳田思想の交錯—天皇観、農地改革批判など—を考察する。

柳田国男といえば『遠野物語』の著者、民俗学者として知られる。だが若き柳田には、国家の中樞官僚として宮中に出仕、明治・大正両天皇にも近侍する「宮廷時代」があった。この経験は、その後の柳田の思想形成に何を刻んだのか。敗戦、占領、象徴天皇制への移行、農地改革という激変の時代に直面して、柳田は何を考えたのか。「常民」の未来をめぐるその思索を、知られざる宮廷経験から読み直す。

序論 宮廷体験をもつ偉大な知識人

I 宮廷時代

- 第一章 生産農民への眼差しと勤王心
- 第二章 宮中および皇室令をめぐる人びとと柳田国男
- 第三章 宮廷生活および大嘗祭
- 第四章 朝日新聞時代および国際連盟委員就任

II 常民と天皇制—宮廷時代以降

- 第五章 稲を植える天皇
- 第六章 靖国神社と柳田国男
- 第七章 農地改革の受容と批判

目次

知られざる「宮廷時代」から
柳田国男の思想を読み直す

民俗学・社会思想 ご担当者様

山下紘一郎(やました・こういちろう)

1942年兵庫県に生まれる。東北大学文学部(国史学科)を経て同大学院修士課程修了。元都立高校教諭。柳田国男研究会会員(1972~1990)、柳田国男を読む会(梟社)会員(1987~2018)。著書に『神樹と巫女と天皇——初期柳田国男を読み解く』(梟社)、『柳田国男の皇室観』(同)、柳田国男研究会編著『柳田国男伝』(共著、三一書房)ほか。

『神樹と巫女と天皇』(2009)は、
文春図書館(立花隆)

『柳田国男の皇室観』(1990)は、
朝日新聞読書面(91.1.13)
神戸新聞読書面(90.12.2)
週刊読書人(91.2.18)

ほかで書評掲載!

ご注文は 而立書房 まで
FAX 03-3292-8782

<http://www.jiritsushobo.co.jp>